村民野球大会
～恒心クラブ２回目優勝～

今年でナイター開催が三年目となる村民野球大会は五月二十三日から中学校グランドで熱戦が繰り広げられました。

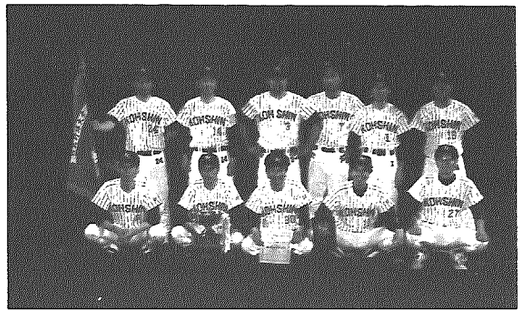
大会は昨年より四チーム少ない十二チームのトーナメント戦で行われ、後半雨で大会期間が延びたものの六月二十三日に決勝戦が行われました。

決勝は恒心クラブと沢海好球クラブとで争われました。

試合は、恒心クラブが一回裏に相手投手の立ち上がりを攻め二点を先取、その後両チームとも得点できず、恒心クラブの本間英樹投手の完封勝利かと思われたが最終回、沢海好球クラブも意地を見せ、風間修悟選手のホームランで一点を返したものの後続が絶たれ試合終了。

優勝した恒心クラブは一昨年に次いでこの大会二回目の優勝となりました。また好投を続けた本間投手は二回戦のウルフ戦で肋骨にヒビが入るケガをしており、気力の完投でした。

なおニュータウンと友和が第三位となりました。



優勝した恒心クラブのみなさん

元気に歌ったよ
創立二十周年記念音楽会

七月一日、横越小学校で多くの父母が見守る中、創立二十周年記念校内音楽会が行われました。

昨年までは体育館が狭く全校で一斉に行うことができず、一年生から三年生までと四年生から六年生までが別々に行っていましたが、今年の三月に増築工事が終了したことから、今回初めての合同音楽会になりました。

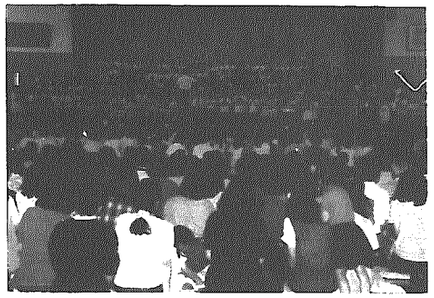
練習は、各学年ごとで十日前から調整を始め、実施されました。

全員で「風の子児童歌」を元気に歌った後、プログラムに従って一年生から順番に楽しい合唱や合奏が開始されました。

父母を目の前にして児童達からは少し緊張した表情が見られたものの「まあまあ良くできたよ」「簡単だったよ」という声も聞かれました。

指導にあたった先生は「明るい声で元気に歌えることを気をつけながら練習してきましたので、今日のみんなの表情からするとうまく歌えていたのではないでしょうか」という声が聞かれました。

父母等からは「このような音楽会は父母達も喜んでいると思うので一年に一回は必ずやって欲しいと思います」「自分の孫の歌っている姿ばかり目がいきますね」等の感想を聞くことができました。



村史編さんだより ⑭
―― 横越村合併の経緯とその周辺③ ――

今回も先月に引き続いて横越村の合併経緯のお話です。

前号では明治十年（一八七七年）当時の二本木村と木津村が独立村を保ちながら各々で村域を拡大していったことについてお話しましたが、その後明治十二年（一八七九年）四月には明治維新後独立村であった現亀田町の袋津村・所島村・城山村が突如横越村と合併します。ところが明治十六年（一八八三年）四月にはこの三ケ村は再び分離し、袋津村と城所村（城山村と所島村がこの時に合併し、村名を変更。文字どおり各村から一字ずつ取って作った新しい村名ですが、このような合併等によるユニークな町村名の変更は当時頻繁に行われました）として独立村となります。

この目まぐるしいまでの合併分離について、村史編さん室では今のところその理由を裏付ける直接資料を持ち合わせていませんが、当時の亀田郷を取り巻いていた情勢と無関係ではなさそうです。

話はややさかのぼりますが、明治四年（一八七一年）の廃藩置県直後から各町村は全て「大区」と「小区」という行政区画に属することになります。この行政区制は明治十一年（一八七八年）七月の郡区町村編成法（施行は明治十二年（一八七九年）四月）と同時に廃止されますが、それまでは現横越村域を含む亀田郷一帯は第二十一大区に所属していました。また丁度併行して地租改正事業が亀田郷一帯では明治八年（一八七五年）一月から行われ、第二十一大区の亀田町周辺の諸村では地価決定の基礎となる田畑の等級のつけ方と等級に伴う年間生産高の見込みについて実情に合わない数値を提示する県側と意見が対立しました。結局各町村からの再三の減額嘆願や各大区長の県案受諾絶対反対表明にもかかわらず、第二十一第区の地租改正事業は難航の末明治十二年一月の大区長の受諾書提出をもって幕を閉じます。

ボランティア講座だより①

村中央公民館では新たに、老人介護・保育ボランティア講座を開講しました。

これは、ますます高齢化・核家族化が進む中、少しでも住み良い村をつくるために、自分のできるボランティアについて学習したいとの村民の希望により開講されたもので、六月二十一日には合同開講式記念講演会が開催されました。

講師の高橋芳子氏は、新潟ではボランティアの草分け的存在で、新潟地震の直後から活動を開始し、地道な活動を積み重ね、新潟ボランティアセンターの開設にこぎつけた程です。

講演の中でボランティアとは「住民が幸せになるためにお互いが出来ることをやっていくこと」「金と時間のある人がやるのではなく、誰もが自分の出来ることを無理なくやっていくこと」とし、その活動によって人はお互いの気持ちや人権を大切にする気持ちが生まれ、自分自身にとって本当に人間として質の高い人生を送ることができると語ってくれました。

婦人大学講座始まる

今年の婦人大学は、視察・手芸・講演等の全八回を予定しています。

六月二十日に実施した㈱加島屋の工場見学には十三名が参加し、鮭をおろす様子や瓶詰にする様子などを見学。

見学後、加島社長の「今の食品には、様々な食品添加物が混入されているため気をつけなければならない」などの興味深い講話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

文芸欄（公募作品高点句者）

俳句　句題　日傘・向日葵・金魚

向日葵を高く咲かせて無人駅　今井夫子

向日葵が紙をはみ出す園児の画　藤崎道子

豪農の館へ日傘つづきけり　村木緋佐子

向日葵に真赤な太陽園児の絵　坪谷たかお

向日葵に影伸び切って閉館す　坪谷十九一

通院に日傘の歩幅はかどらず　石井楽秋

思う事言い得ず日傘廻しゐる　坪谷耕雨

妻病んで金魚の水の汚れけり　坪谷耕雨

吊り橋を日傘が揺らし渡り行く　井越裕穂

踏切に日傘重なる昼下がり　神田斗子

8月の中央公民館事業
（☎385－2043）

社会教育ガイド
＜会場は中央公民館＞

■育児教室
毎週月曜日　午前10時～

■婦人大学
期日　8月24日㈫
時間　午前10時～
内容　手芸
講師　小林　希氏

■子どものワープロ講座入門体験
期日　8月3日㈬・4日㈮
時間　午前9時30分～
会場　中学校

■ワープロ講座
期日　8月3日㈬・4日㈮
時間　午後1時30分～
会場　中学校

■パソコン講座
期日　8月3日㈬・4日㈮
時間　午後7時～
会場　中学校

■こどものイラスト教室
期日　8月6日㈰、午後1時～
　　8月21日㈪、午後6時30分～
講師　諸橋房子氏

社会体育ガイド
＜会場は総合体育館＞

■国体二部県選抜9人制バレーボール男子チーム強化練習
期日　8月20日㈰　午前9時～

■4人制ソフトバレー教室
期日　8月8日㈫・22日㈫
時間　昼の部と夜の部開催

■ミニバスケットボール教室
毎週金曜日　午後6時30分～

■ドッジボール教室
第2・第4土曜日　午前9時30分～

■トレーニング器具操作講習会
期日　8月11日㈮　午後7時00分～
　　8月18日㈮　午後1時30分～
　　8月24日㈭　午後7時00～

■バレーボール公式記録講習会
期日　8月27日㈰　午前10時～午後4時まで

■サマーカップ中学生バレーボール大会
期日　8月29日㈫　午前9時～午後5時まで

■ターゲットバードゴルフコース開放
5ホールパー14
用具は総合体育館で貸出します。
（1セット100円）

8月13日㈰、15日㈫の両日　午後5時以降総合体育館は休館いたします。